

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(作業療法士)を常勤で配置している。利用児のアセスメントを専門的な視点から行い、オーダーメイドの支援が提供できる。	専門的支援実施計画書を作成している。専門職の意見を取り入れ、個別にあった支援や遊具の購入などを行っている。また、他職種と意見交換をすることで、職員間のスキルアップに繋がっている。	施設内だけでなく、外部講師に研修を依頼したり、外部研修への参加しやすい環境を作り、職員のモチベーションの向上に努めたい。
2	従業員は作業療法士、保育士、児童指導員など、多様な職種を配置している。それぞれの強みを生かした活動の提供や振り返りの中での意見交換ができる。	朝礼、終礼を通して、日頃から意見交換を行っている。	長期休みはアルバイトやボランティアを活用するなど、手厚い支援体制を整えたい。
3	小規模施設を生かし、本人の思いを優先しながら当日にスケジュールを組み立てることができる。	高齢者デイサービスを訪問し、相互理解を図ったり、社会のルールを学ぶ場を設けている。地域貢献にも繋がっている。	地域を巻き込んだ企画の開催や地域のイベントに積極的に参加したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等の参加できる研修の開催や情報提供ができていない。	保護者のニーズを把握できていない。	関心のある研修や形式、参加しやすい時間帯などのアンケートを取ることで、保護者のニーズを把握していきたい。
2			
3			